

**第2回武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会
第3回エリア防災計画作成部会 合同会議
会議録**

■開催日時・場所・出席者

日 時：平成28年3月23日（水）16時～17時15分

場 所：中原区役所501会議室

出席者：武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会委員（別紙名簿参照）

エリア防災部会委員（別紙名簿参照）

村田担当課長、松山課長補佐、山本職員（以上、中原区役所危機管理担当）

■会議次第

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 題

(1) 第1回会議及び第2回計画作成部会の意見概要について

(2) 武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策訓練の報告について

(3) 武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画（案）について

①策定過程と計画の構成について

②計画内容について

③今後の推進体制について

4 その他

5 閉 会

■配付資料

資料番号	資料名
—	次第
—	名簿
—	座席表
資料1	「第1回武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会・エリア防災計画作成部会 合同会議 会議録」「第2回エリア防災計画作成部会 会議録」
資料2	武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策訓練実施結果
資料3	策定過程と計画の構成について
資料4	武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画 概要版（案）
資料5	武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画（案）

■会議要旨

1 開会

2 委員長挨拶

《川崎市副市長 砂田委員》

これまで、小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会、特にエリア防災計画作成部会の皆様を中心に、帰宅困難者対策訓練や計画に対する議論を進められ、ほぼ最終的な計画案がまとめられている状況であり、皆様には改めて感謝申し上げます。

災害時に、行政が救命・救助を優先的に対応せざるを得ない状況となる中、帰宅困難者対策は行政以外の様々な立場の皆様の協力を得て講じるものであると考えており、皆様には実際の場面でもご尽力いただくことが多くなるかと思うが、よろしくお願ひしたい。

本日も、計画の完成に向けて実りあるご審議をお願いしたい。

3 議 題

(1) 第1回会議及び第2回計画作成部会の意見概要について

○事務局より、資料1「武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会・エリア防災作成部会 合同会議 会議録」「第2回エリア防災計画作成部会 会議録」に基づき、第1回会議及び第2回計画作成部会での意見概要について説明を行った。

(2) 武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策訓練の報告について

○事務局より、資料2「武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策訓練実施結果」に基づき、訓練結果の報告を行った。

(途中、訓練当日の様子を撮影した動画及び、イツココミュニケーションズ株式会社の取材によりケーブルテレビで放送された動画を上映。)

(3) 武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画(案)について

○エリア防災計画作成部会である小野部会長より資料3「策定過程と計画の構成について」、に基づき、以下の説明を行い、事務局より、資料4「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画 概要版(案)」、資料5「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画(案)」に基づき、以下の説明を行った。

①計画策定と計画の構成について

○これまでの策定作業の計画への反映について、第1回作成部会で確認した内容(計画の目的、現状等の把握)を計画の第1章、第2章に反映し、第2回エリア防災計画作成部会でまとめた、今後の推進すべき取組内容、震災時における各関係者の対応策(連絡体制と時系列に沿った行動フロー)、新たな誘導ポイント(混雑緩和スポット、要配慮者専用一時滞在施設の設定)を、帰宅困難者訓練の実施検証を経て第3章、第4に反映していること、第5章「計画の推進について」(進行管理体制、計画の変更等)と第2章の対象範囲、第3章の施設整備および管理については、新たに記載しており今回確認が必要

な個所であることを説明した。

- ②計画の内容について
- ③今後の推進体制について

○計画案が武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会に承認され、本計画に基づき、今後具体的に取組を進めていくこととなった。

4 その他

- 事務局より、計画案へのご意見については3月25日（金）17時まで、中原区役所危機管理担当へご連絡いただきたい旨を伝えた。
- 須田委員（川崎市総務局危機管理室）より、現在市で作成中である徒歩帰宅支援マップについてご説明いただいた。

5 閉会

《川崎市中原区区長・鈴木委員 挨拶》

これまで本会議の皆様が主体的に関わり、課題解決に向けた検討や議論を重ね、この「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画」を、より武蔵小杉駅の現実に即した、実効性のある計画としてとりまとめることができたことに、改めて感謝申し上げる。

本計画の策定は、地域の皆様と作り上げる「誰もが安心できる災害に強いまちづくり」を中原区、ひいては川崎市の新たな強み・魅力として磨き上げていく過程の第一歩であると考えている。

また、計画策定を通じ、より深まった皆様との協力関係は、今後の活動の礎となる地域の大きな財産である。

計画策定後も、皆様とともに地域が一体となってこの計画を推進していけるよう、今後ともご協力をお願いしたい。

以上